

からだを

読み解く

九大病院別府病院の研究から

—4—



放射線科助教 脇山浩明

## 集中照射で効果的治療



脇山浩明助教

線」がド  
節などに転移のない早期肺  
がんなどに適応されます。  
理学者レ  
IMRTは、がんの形や  
位置に合わせて非常に複雑  
な照射をする方法で、放射  
線に弱い正常臓器を避け  
て、がんを放射線を集中さ  
せることができます。その  
日では技術の進歩やコンビ  
ューターの導入で、正確な  
ため、正常臓器を守りつつ、  
照射や安全で質の高い治療  
治療効果を出すことができ  
ます。前立腺がんなどに適  
応されました。

最新の放射線治療法には  
「定位放射線治療」や「強  
度変調放射線治療（IMR  
T）」などがあります。  
定位放射線治療は比較的  
小さな病変に対して効果を  
発揮し、さまざまな方向か  
らピンポイントでがんを狙  
い撃ちします。通常の放射  
線治療は1日1回の治療で  
20〜30回続けて照射するの  
に比べ、数回の照射数で終  
了する点や治療効果も通常  
の放射線治療よりも高いこ  
とがメリットです。リンパ

九大病院別府病院は、が  
ん細胞の遺伝子を調べるこ  
とで放射線治療前に効果を  
判別できる研究や、治療効  
果を高める薬剤の研究開発  
などをしており、治療成績  
の向上につなげたいと考え  
ています。

現在、国内の死亡原因の  
第1位はがんです。がん治  
療の3本柱は手術と抗がん  
剤、放射線治療で、これら  
を組み合わせることで効果  
的な治療ができます。

放射線治療の特長は①が  
んの局所療法である②臓器  
に放射線の「エックス

の機能と形を温存できる③  
生活の質を落とさない④手  
術よりも体に優しい（低侵  
襲）などが挙げられ、体  
力のない高齢者でも治療の  
対象になります。